

スギ・ヒノキ花粉飛散予測のまとめ

1 各調査手法によるスギ・ヒノキ花粉の飛散数予測

表 1 予測数まとめ

観測点 区市名	予測 A (倉本) (資料 2 参照)	予測 B (村山) (資料 3 参照)
千代田	9,310	10,788
葛飾	9,607	10,522
杉並	11,059	13,181
北	9,304	10,761
大田	9,171	10,872
青梅	29,036	28,553
八王子	19,088	18,087
多摩	15,526	13,911
町田	10,281	9,251
立川	10,866	10,173
府中	7,962	7,984
小平	6,090	5,723

(個/cm²/シーズン)

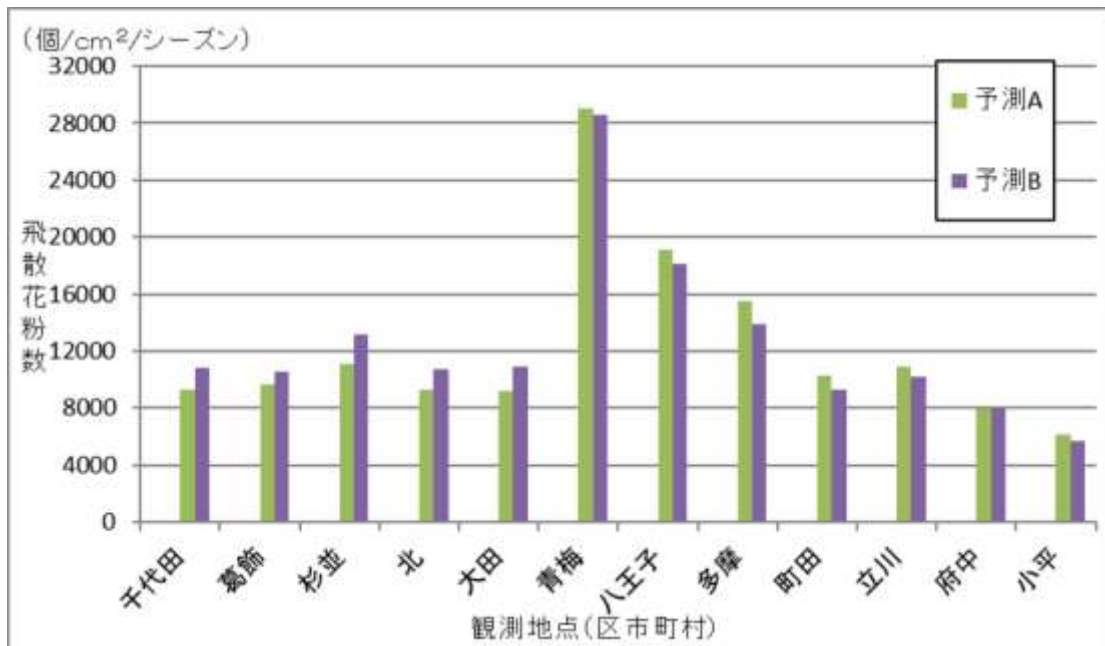


図 1 飛散数予測の比較

2 予測の調整

表2 各予測と予測幅案

測定点 区市名	予測A (倉本)	予測B (村山)	予測C (調整後)	下限※	上限※
千代田	9,310	10,788	10,049	8,542	11,556
葛飾	9,607	10,522	10,065	8,555	11,574
杉並	11,059	13,181	12,120	10,302	13,938
北	9,304	10,761	10,033	8,528	11,538
大田	9,171	10,872	10,022	8,518	11,525
青梅	29,036	28,553	28,794	24,475	33,114
八王子	19,088	18,087	18,587	15,799	21,376
多摩	15,526	13,911	14,719	12,511	16,926
町田	10,281	9,251	9,766	8,301	11,231
立川	10,866	10,173	10,520	8,942	12,098
府中	7,962	7,984	7,973	6,777	9,169
小平	6,090	5,723	5,906	5,021	6,792

※ 予測Cの±15% (小数点以下四捨五入)

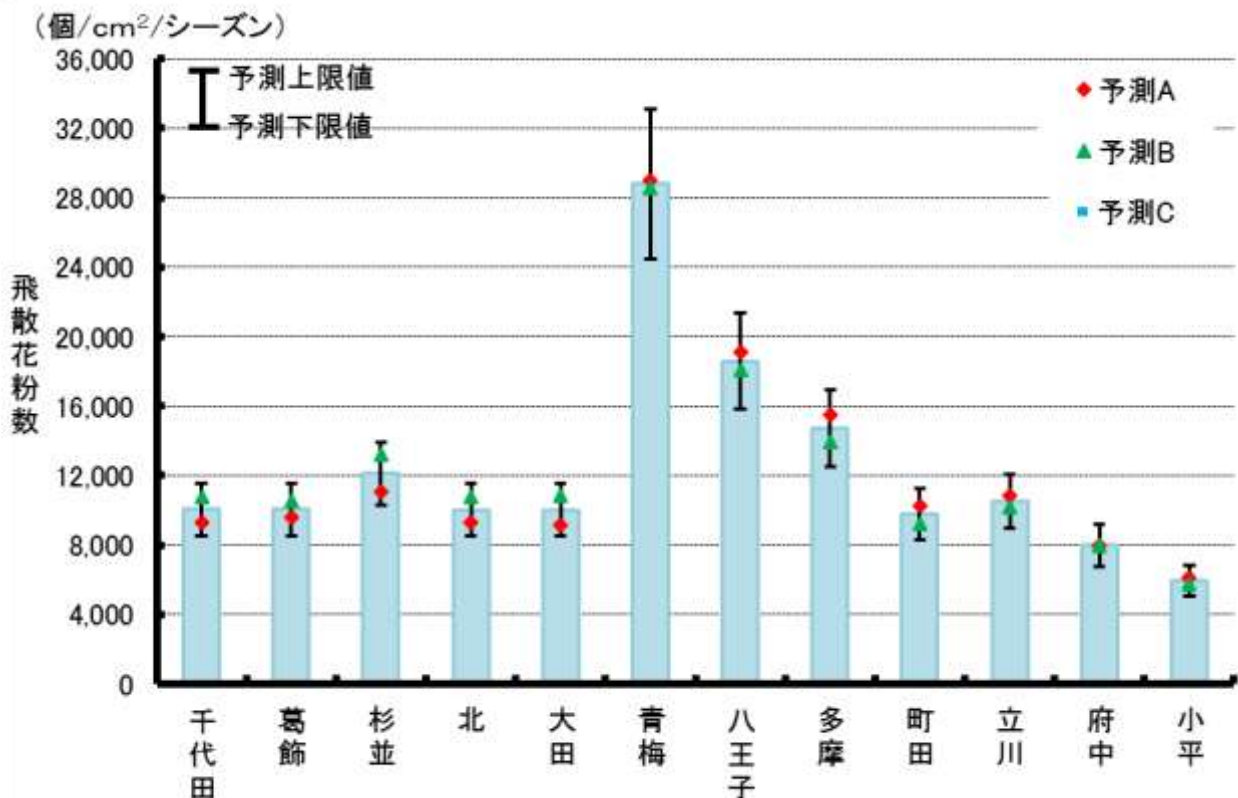


図2 予測幅案と各予測との比較

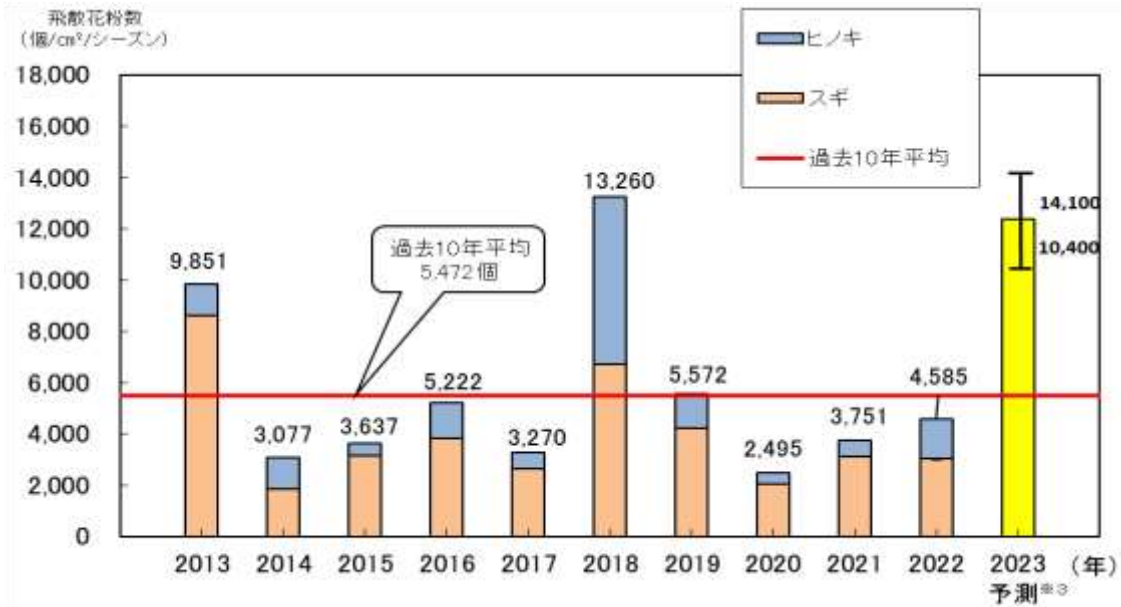
3 スギ・ヒノキ飛散花粉数予測のまとめ

表3 飛散花粉数

測定点 区市名	2023年 飛散花粉数予測値※1	2022年比 過去10年平均比	2022年 飛散花粉数	過去10年の 平均飛散 花粉数	過去の 飛散花粉数※2	
					最小値	最大値
千代田	8,500～11,500	1.9～2.6 1.7～2.3	4,500	5,089	277	11,465
葛飾	8,500～11,500	2.1～2.8 1.7～2.2	4,126	5,112	136	11,959
杉並	10,300～13,900	1.9～2.6 1.7～2.3	5,357	5,986	118	14,614
北	8,500～11,500	1.7～2.0 1.7～2.3	5,083	5,029	242	11,707
大田	8,500～11,500	2.1～2.8 1.7～2.3	4,145	4,961	148	12,481
区部平均	8,800～11,900	1.9～2.6 1.7～2.3	4,642	5,235	—	—
青梅	24,400～33,100	3.2～4.4 2.3～3.1	7,534	10,774	125	37,899
八王子	15,700～21,300	3.1～4.2 2.2～2.9	5,032	7,292	142	24,958
多摩	12,500～16,900	2.7～3.6 2.0～2.7	4,632	6,260	1,035	21,565
町田	8,300～11,200	2.3～3.1 1.9～2.6	3,576	4,356	215	18,914
立川	8,900～12,000	1.5～2.0 1.9～2.6	5,912	4,614	1,292	19,969
府中	6,700～9,100	2.7～3.6 1.9～2.5	2,509	3,587	772	15,914
小平	5,000～6,700	1.9～2.6 1.9～2.6	2,609	2,602	291	12,345
多摩地域平均	11,600～15,700	2.6～3.5 2.1～2.8	4,543	5,641	—	—
都内平均	10,400～14,100	2.3～3.1 1.9～2.6	4,593	5,438	—	—

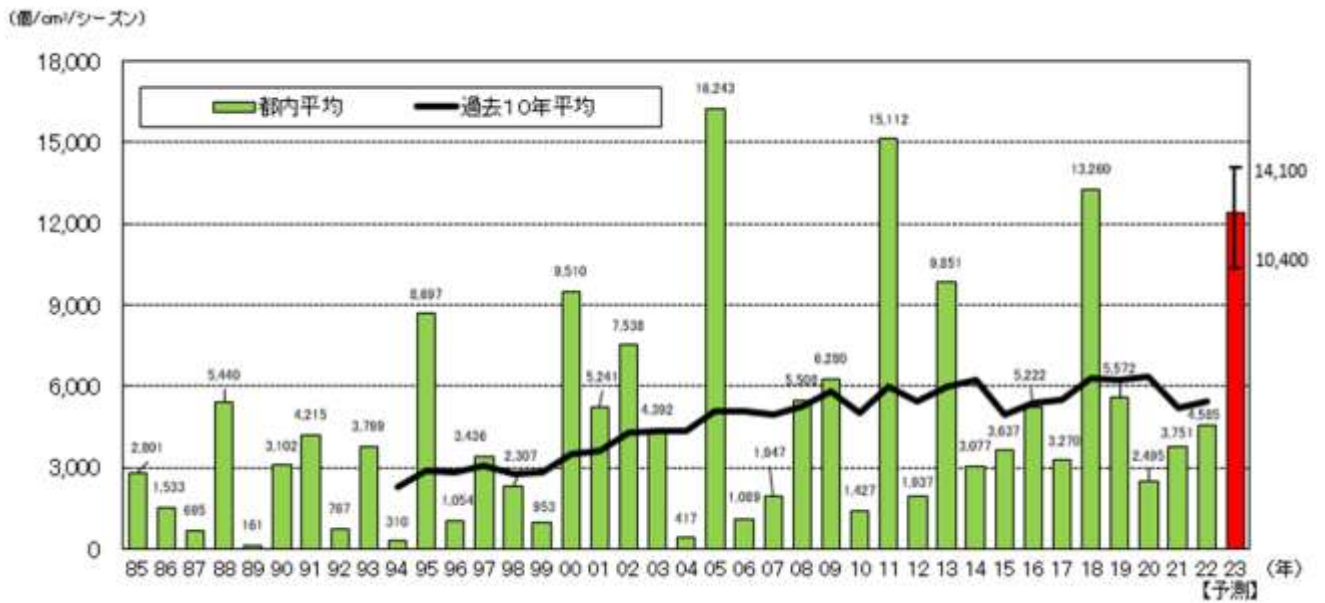
※1 花粉数は、花粉飛散シーズン中に花粉捕集器(ダラム型)のスライドグラス1平方センチメートル内に付着した花粉の個数である。

※2 過去の飛散花粉数(最大、最小)は都の観測開始(1985年)以降のものである。なお、千代田は1990年以降、小平は1997年以降、多摩・立川・府中は2005年以降のものである。



※3 スギ・ヒノキ飛散花粉数は、前年夏の日射量や秋のスギ花芽の着花状況などによって予測しています。予測値は、スギとヒノキの合計値です。

図3 飛散花粉数の経年変化 (都内12地点平均)



※4 1990年に千代田で測定開始、1997年に小平で測定開始、2005年に多摩、立川、府中で測定を開始した。2005年以降は、現在の12地点で測定を行っている。

図4 飛散花粉数と過去10年平均※4

都内の飛散花粉数の経年変化を見ると、過去10年平均は増加傾向にあります。(図4)

4 飛散花粉数が多い日^{※5}の予測について

調整後の飛散花粉数の予測値に基づき、村山委員が行った各地点の飛散花粉数が多い日の予測を表4に示します。

飛散花粉数が「多い（30個以上）」の日数は、区部で51日程度、多摩地域で52日程度となる見込みです。都内平均では、51日程度となり、前年の34日より17日多く、過去10年間の平均の33日より18日多くなる見込みです。（表5）

表4 各測定地点の飛散花粉数が多い日の予測

（データ提供：村山貢司氏）

観測地点	千代田	葛飾	杉並	北	大田	青梅	八王子	多摩	町田	立川	府中	小平
日数(日)	50	50	54	50	50	66	59	55	48	49	45	40

表5 飛散花粉数が多い日の予測

	2023年予測 ^{※6}	2022年	過去10年平均
区部(日)	51	35	35
多摩地域(日)	52	34	31
都内平均(日)	51	34	33

※5 飛散花粉数が多い日とは、花粉捕集器（ダークラム型）で測定した数値が1日あたり30個/cm³以上の日

※6 村山委員が行った予測（表4）から算出

5 飛散開始日の予測について

飛散開始日は都全体で2月13日から17日頃と予測され、例年（過去10年平均）並みか、やや早くなる見込みです。なお、2月初めごろに再度、飛散開始日の予測を行います。（表6）

表6 飛散開始日の予測

	2023年予測	2022年平均	過去10年平均
都全体	2月14日	2月24日	2月15日
区部	2月14日	2月23日	2月14日
多摩地域	2月15日	2月24日	2月16日